

公開講演会 最新化学談話シリーズ

令和元年度 第7回談話会

架橋高分子表面に見られるマクロ物性の制御

—摩擦・粘着・パターン形成—

鈴木 淳史 教授

(横浜国立大学大学院・環境情報研究院)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：令和元年12月25日(水) 午後4時より

場所：九州大学理学部化学科 W1-B-315 講義室

(伊都キャンパス ウェスト1号館3階315号室)

内容:架橋高分子の構造は、構成する高分子間に働く複雑な分子間相互作用、鎖長や架橋点の密度と分布、架橋の種類と構造などによって決まり、固体では見られないユニークな物性を生み出す。ここでは、ゆるく架橋したポリビニルアルコール (PVA) とポリジメチルシロキサン (PDMS) について、**摩擦・粘着・パターン形成**という古くて新しい物性を取り上げる。PVAゲルの極低摩擦を実現するための網目構造の制御、PDMSの振動を伴う剥離現象、質感を制御するための表面パターンの形成など、いくつかの新奇な現象を紹介し、その基礎的な物理化学を再考する。

(注)この講演は大学院集中講義の一環です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 安中雅彦 : TEL (092)802-4118

(事務局) 化学部門等事務室 : TEL (092)802-4125